



第 1339 回例会報告

平成25年11月7日(木) 小雨

会長挨拶

会長 平山隆勇

ポリオ撲滅

11月はロータリー財団月間です。ロータリー財団の教育的プログラム、人道的補助金プログラムの他に特別プログラムとしてポリオ撲滅があります。これはポリオワクチンによりこの世からポリオを無くそうという壮大な計画で、本年度のRI会長強調事項でもトップに掲げられています。1985年2月RIはロータリー創始80周年に当たってポリオプラス計画を発表しました。日本でも1986年から1991年の5年間で約49億円の寄付金が集まったそうです。1988年には世界保健機構(WHO)、アメリカ疾病対策センター、ユニセフ、RIとの間で、『世界ポリオ撲滅推進計画』が立ち上げられました。ロータリーをはじめとするパートナー団体と各地の保健当局との協力により、1988年当時ポリオが常在する国は125カ国、ポリオの無い国は71カ国でしたが、2012年には12か月間新たなポリオ発生が無かったことから、インドが正式に常在国から削除され、ポリオが常在する国はパキスタン、アフガニスタン、ナイジェリア3つを残すだけになり、ポリオの無い国は193にもなりました。患者数も1988年には年間35万症例が発生していましたが、2012年にはわずか223件しか報告されませんでした。即ち99%以上もの減少が実現されたのです。この間RIでは何度か資金集めのキャンペーンが実施されてきましたが、2007年、2009年にビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から寄付された合計3億5,500万ドルに対して、ロータリーが2億ドルをマッチングするという「2億ドルチャレンジ」を

2012年までに達成したのです。このようにポリオ撲滅まではもう少しのところにはきているのですが、先ほど述べた3つの常在国は何れも政治的・社会的な理由から子供たちへの予防接種が困難である他、資金不足もあって現在足踏み状態が続いているようです。今年の6月に開催されたリスボン大会で、ゲイツ財団は2013年から2018年まで、ロータリーが拠出した資金に対し、その2倍の額を上乗せすると発表しました。パートナーと力を併せて、何とかポリオ撲滅を目指さなくてはなりません。そんな中で心配なニュースがありました。今年の10月26日までに、内戦下にあるシリアで新たなポリオが20件位見つかったということです。このように一旦ポリオが制圧された国でも、衛生環境が悪いところでは再び出現することがあり、その危険は周辺国にも広がります。この他、今年の春にもソマリアとケニアで感染が報告されています。あと少しとは

■出席報告

会員数	36名
出席対象	33名
出席者数	26名
出席率	78.8%
前回修正	81.8%

■ニコニコBOX

21名	22,000円
累計	410,000円
目標額	130万円
達成率	31.5%

■今週のこぼ

宮坂ガバナーをお迎えして。
本日はよろしくご指導お願いいたします。

平山隆勇

■次回のプログラム

11月21日
夜間会員セミナー
職業奉仕委員会
18:00 受付開始
18:30 例会開始
19:30 懇親会
会費 2,000円



言っても、絶滅への道は尚遠いのです。子供達の手足が麻痺するポリオには治療法がありません。絶大な予防効果を発揮するワクチンを接種することのみが唯一の絶滅の道です。一人分のワクチンはわずか 60 セント、私達自身も勿論ポリオ撲滅を今まで以上に支援しなくてはなりません、周囲の人々にも支援を呼び掛ける努力をする必要を強く感じます。

◇幹事報告◇

【理事会報告】

1) 先週号で紹介いたしました。

第 1339 回例会

会長、幹事

ガバナー公式訪問例会

2600 地区宮坂宥洪ガバナー

本日は2600 地区宮坂宥洪ガバナーをお迎えし、講話とご指導をいただきました。ありがとうございました。

諏訪湖清掃が行われました

社会奉仕委員会により、諏訪湖アダプトプログラムによる諏訪湖清掃が行われました。意外とゴミが多くびっくりしましたが 17 名という大勢の参加で清々しいひと時を過ごせました。



例会終了後、宮坂ガバナー、遠藤ガバナー補佐を囲んで記念撮影を行いました。